

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '人材育成福祉体験事業' and '社会福祉総務事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about volunteer training and social welfare activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for 26-30 years regarding volunteer training and social welfare activities.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs for 26-30 years. Includes sub-tables for 事業費 (事業費内訳) and 人件費 (人件費).

Table showing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円). Includes a summary row for 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, and a summary column. Includes a note about recording content by fiscal year.

事務事業名	人材育成福祉体験事業	事務事業No.	20301000466	所属課	社会福祉課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・旧岩瀬町でふるさと創生交付金事業で行っていた事業を合併後も継続して行っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・平成22年度、平成23年度に2高校が補助金を辞退されたが、ボランティア活動体験事業を継続して、学校行事の一環として取り組んでいただいた。 ・平成25年度には、1高校から補助金を活用し事業に取り組みたいとの要望があり、補助金を交付し、活動に取り組んでいただいた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	福祉意識を育てる環境づくりを進めることは、地域福祉計画の中の「地域を理解し地域のために貢献できる仕組みや人材育成を図ることが必要である。」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域福祉計画の中の「地域を理解し地域のために貢献できる仕組みや人材育成を図ることが必要である。」にも結び付く。他人を思いやり支え合う気持ちを持てるよう福祉教育を進めることは公共関与が妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	地域福祉計画に沿った事業であり、市内の児童・生徒が学校での福祉体験事業に参加できている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民と行政による協働のまちづくりには、若い世代からの福祉教育は必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → <input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 類似団体、類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業の低下につながり、人件費は必要最小限であるので事業費を削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の児童・生徒が各学校でボランティア体験事業に参加しているので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併前からの継続事業として、小学生から福祉体験事業を行い、高校生などは意識付けができていようである。今後も、児童・生徒が人材育成福祉体験事業を継続し福祉に対する意識付けとなる事業としていきたい。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	コスト			維持	削減	維持	増加	低下			
成果	向上		コスト											
	維持		削減	維持	増加									
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	①													
コスト削減優先度評価結果	⑨													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>